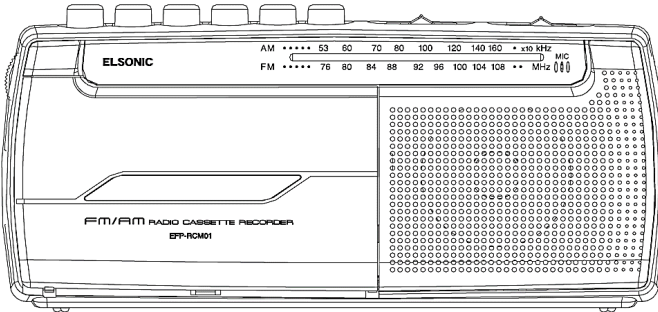


ELSONIC

取扱説明書

ラジオカセットテープレコーダー

型番: EFP-RCM01



も く じ

ページ

安全上の注意	2
各部の名称	5
ご使用前に	6
使いかた(ラジオを聴く)	7
使いかた(テープを聴く)	8
使いかた(ラジオをテープに録音する)	9
使いかた(内蔵マイクでテープに録音する)	10
使いかた(イヤホンで聴く)	11
お手入れについて	12
故障かなと思ったら	13
製品仕様	14
保証書・保証規定	15

- この度はノジマ ELSONIC ラジオカセットテープレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に「安全上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の15ページに載っています。レシートとともに 保管してください。

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスも出来ません。
This appliance is designed for Japan only and can not be used in any other country.
No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、しては
いけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行
していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、修理・改造
しない



発火したり、異常動作して、火災や
感電・けがの原因になります。
分解禁止

■電源コードを傷つけたり、破損
させたり、重いものをのせたり、
加熱したり、ひっぱったりしない



火災・感電の原因になります。

■電源プラグをぬれた手で抜き
差ししない



感電の原因になります。

■交流100Vのコンセントで使用する



指定された電圧以外で使用する
と、コンセントが発熱して、発火する
原因になります。

■煙や悪臭、異音が出たり、落下、
破損したときは、直ちに使用を
止めて、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災や感電・
けがの原因になります。
プラグを抜く

■電源コードやプラグが痛んだり、
コンセントの差し込みがゆるい
ときは使用しない



発火の原因になります。

■水につけない、水をかけない



ショートして、火災・感電の原因に
なります。

■雷が鳴り出したら、電源コード
やプラグ、アンテナに触れない



感電の原因になります。
ただし、屋外で使用中の場合は、
FMアンテナをたたく安全な場所
に避難してください。感電・落雷の
原因になります。

警告

■ 本製品に異物を入れない



カセットテープの挿入口などから、金属類や燃えやすい紙などを入れないでください。感電や火災の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

■ 放熱を妨げない



壁から離して設置してください。内部に熱がこもると、変形、火災の原因になります。

■ お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因になります。

プラグを抜く

■ 付属の電源コード以外を本製品以外に使用しない



電源コードは付属のコード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを本製品以外に使用しないでください。火災・感電の原因になります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って抜く



コードがショートや断線して、発火・感電の原因になります。

■ 水のかかる所や火気の近くで使わない



異常動作して、感電や発火の原因になります。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

注意

■ 不安定な場所に置かない



落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。

■ 油煙や湯気の当たるところやほこりの多いところに置かない



火災や感電の原因になります。

■ 幼児の手の届くところでは使わない。



感電・けがの原因になります。

■ 異常に温度が高くなるところに置かない



夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、暖房器具のそばに放置しないでください。火災や故障の原因になります。

■ 長期間使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜き、電池も外す



絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。電池の液漏れの原因になります。

注意

■本体の上にものを置かない



けがや破損の原因になります。

■磁気の影響を受けやすいものを近づけない



スピーカーの磁気の影響でキャッシュカード、ICカード、時計などが正しく働かなくなることがあります。

■電磁波を発生する機器に近づけない



電磁波のため、ノイズが発生することがあります。

■イヤホン使用時は音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■アンテナを伸ばしたままで持ち運ばない



アンテナが当たってけがや破損の原因になります。

■ベンジン、シンナーなどでふかない



変形、変色の原因になります。お手入れには乾いた柔らかい布をご使用ください。

■音量は徐々に上げる



電源を切るときは音量を小さくしてください。電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力に悪い影響を与える可能性があります。

■布で覆ったりして通風孔をふさない



熱がこもって火災や故障の原因になります。

乾電池について

■+-逆接続、新旧電池や銘柄の異なる電池を混用しない



液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

■火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車内など、高温になる場所で使用、保管、放置しない



発火・火災・破裂の原因になります。

■長時間使用しないときは、電池を取り外しておく



液漏れの原因になります。

■加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない



発火・火災・破裂の原因になります。

■指定以外の電池を使用しない



発火・火災・破裂の原因になります。

■電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えない



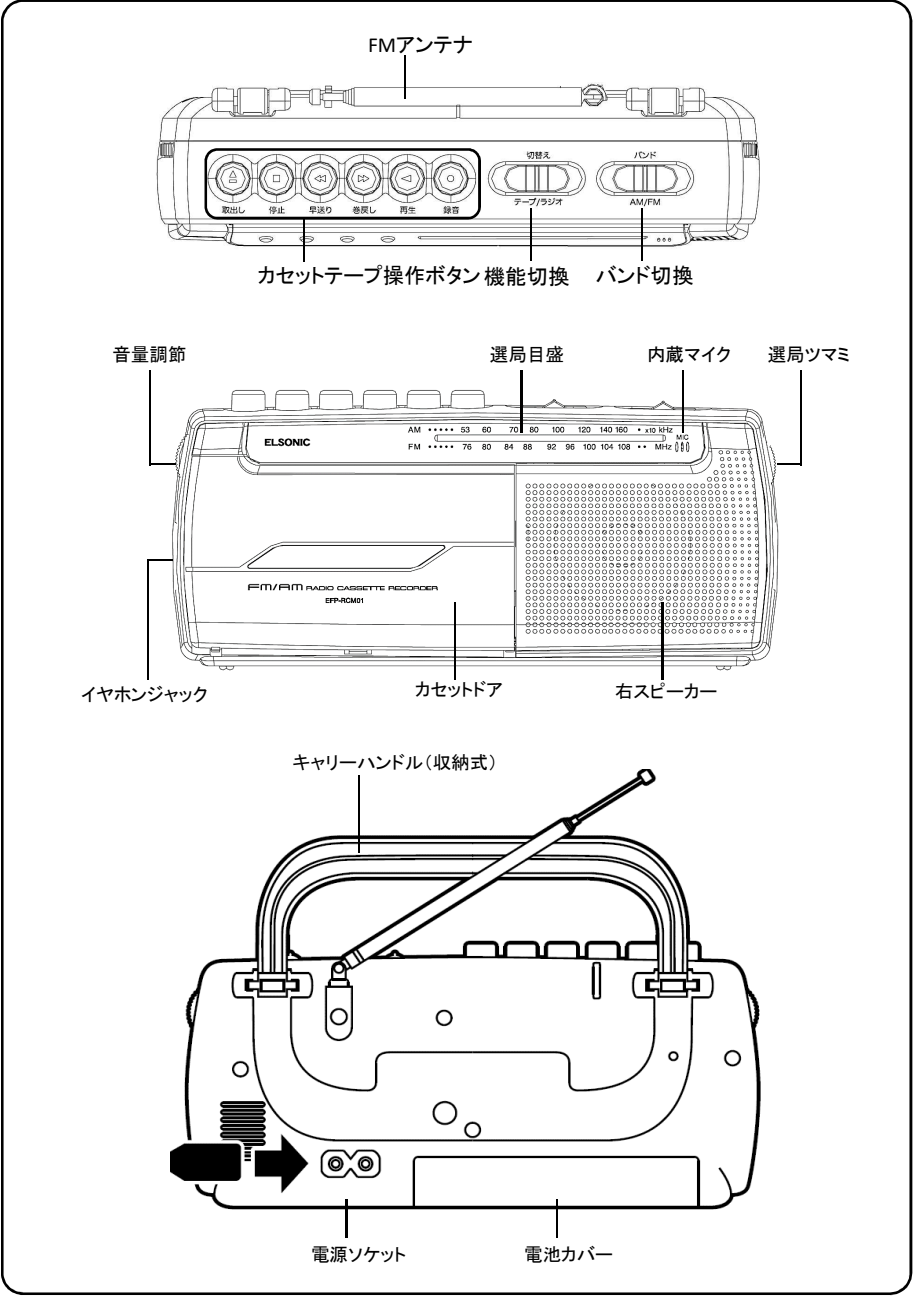
液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

■液漏れしている場合は素手では触れない



皮膚がかぶれる原因になります。

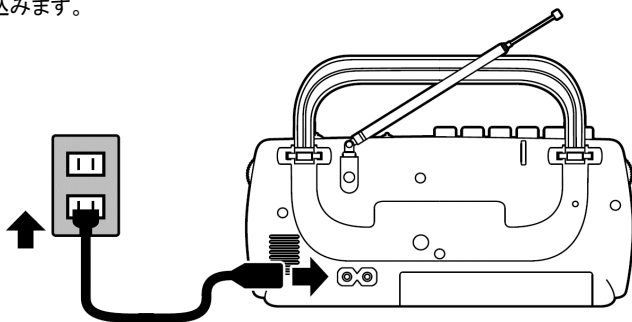
各部の名称



ご使用の前に

家庭用コンセントを使う

本体裏面にある電源ソケット(AC IN)に付属の電源コードを接続し、反対側のプラグをコンセントに差し込みます。



ご注意

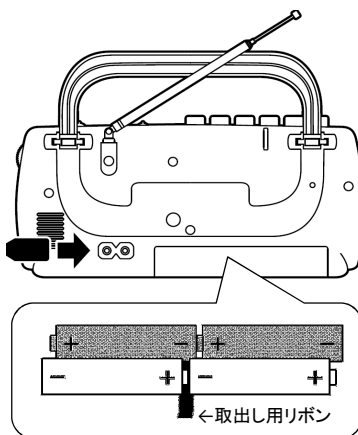
- 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本製品に使用しないでください。
- 電源コードを抜き差しするときは、機能切換スイッチを「テープ」の位置に合わせてから行ってください。
- 長時間使わないときは、節電のため電源コードを抜くことをお勧めします。

乾電池を使う

本体裏面にある電池収納部のカバーを開けて、単3電池4本(2本ずつ2段)を入れます。取出し用リボンの上に電池が載るようにしてください。設置後、カバーをもとに戻します。

ご注意

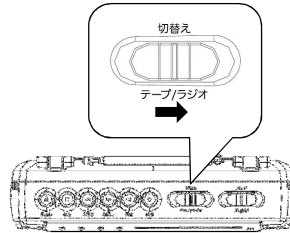
- +の向きを間違わないように正しくセットしてください。コイルバネがある方が- (マイナス) です。
- 乾電池をお使いになるときは、本体から電源コードが抜いてください。
- 電池を取り出すには、リボンを引いてください。
- 長時間使わないときは、電池を抜いてください。
- 新しい電池と古い電池、銘柄の異なる電池を混用しないでください。
- 電池は付属していませんので、ご自分でご用意ください。



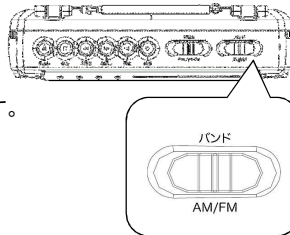
使いかた

ラジオを聴く

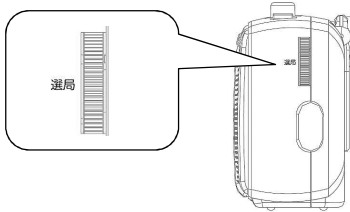
1. 切換スイッチを「ラジオ」に合わせます。



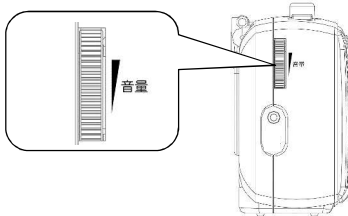
2. バンド切換スイッチを「FM」または「AM」のいずれかに合わせます。



3. 選局ツマミを回して聞きたい放送局に合わせます。



4. 音量調節を回してお好みの音量に調節します。

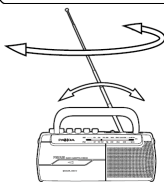


ご注意

- 建物や乗り物の中では電波が弱まり、聞きにくいことがあります。
- テレビやパソコンのそばでは雑音が入ることがあります。その場合は本体を離してください。
- 周囲に迷惑のかからないように、音量を調整してください。

5. ラジオを切るときは、切換スイッチを「テープ」合わせます。

受信状態をよくするには



FM放送の場合
FMアンテナを伸ばして、長さ、方向、角度を変えて調節してください。

AM放送の場合

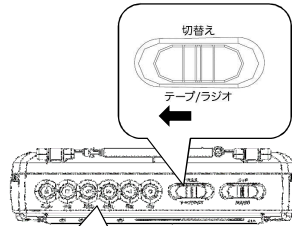
本体を動かして最も受信状態の良い方向へむけてください。



使いかた

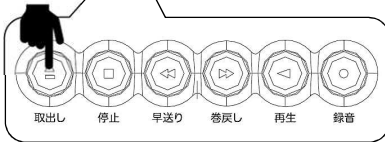
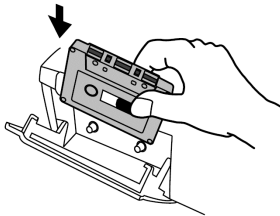
テープを聴く

1. 切換スイッチを「テープ」に合わせます。

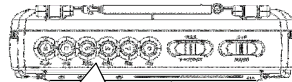


2. 取出しボタンを押してカセットドアを開けます。

テープの見える方を上にして、カセットテープを入れます。

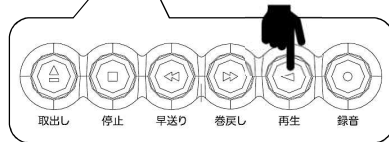


3. テープが正しくセットされたこと確認して、カセットドアを閉めます。



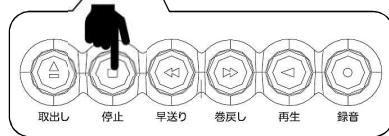
4. 再生ボタンを押して、テープを再生します。

裏面を再生する場合は、停止ボタンを押してから取出しボタンを押して、カセットテープを取り出します。カセットテープを裏返して入れて、再生ボタンを押します。



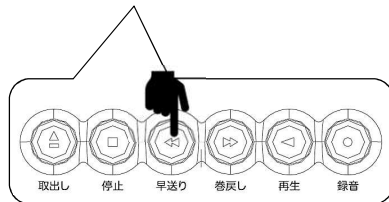
5. 再生を止めるには、停止ボタンを押します。

テープが最後まで巻き取ると自動的に止まり、ボタンが上がります。



6. 停止中に早送り、巻戻しボタンを押して、テープを早送りにしたり、巻き戻します。
止めたところで、停止ボタンを押します。

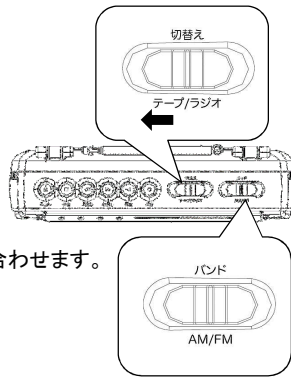
早送り、巻戻しでは自動的に止まりませんので、必ず停止ボタンを押して終了してください。



使いかた

ラジオをテープに録音する

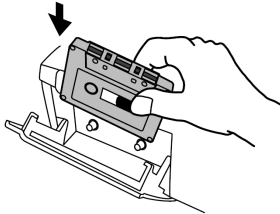
1. 切換スイッチを「テープ」に合わせます。



2. バンド切換スイッチを「FM」か「AM」のいずれかに合わせます。
選局ツマミを回して録音したい放送局に合わせます。

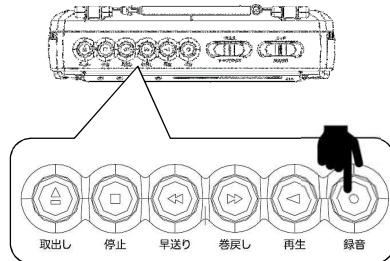
3. 取出しボタンを押してカセットドアを開けます。

テープの見える方を上にして、カセットテープを入れます。



4. テープが正しくセットされたこと確認して、カセットドアを閉めます。

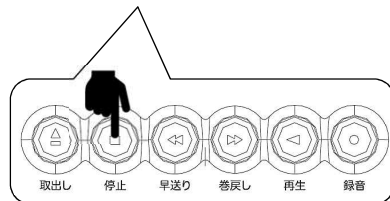
5. 録音ボタンを押して、録音を開始します。
録音ボタンを押すと、再生ボタンもいっしょに下がります。



裏面に録音する場合は、停止ボタンを押してから取出しボタンを押して、カセットテープを取り出します。カセットテープを裏返して入れて、録音ボタンを押します。

6. 録音を止めるには、停止ボタンを押します。

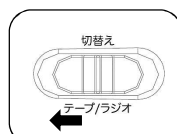
テープが最後まで巻き取ると自動的に止まり、ボタンが上がります。



使いかた

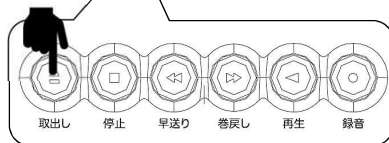
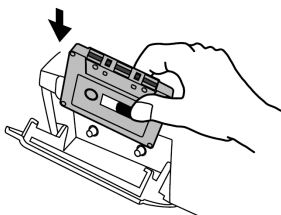
内蔵マイクでテープに録音する

1. 切換スイッチを「テープ」に合わせます。

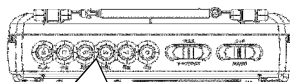


2. 取出しボタンを押してカセットドアを開けます。

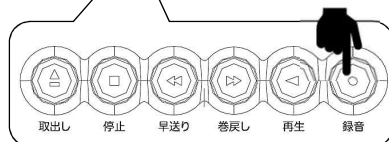
テープの見える方を上にして、カセットテープを入れます。



3. テープが正しくセットされたこと確認して、カセットドアを閉めます。



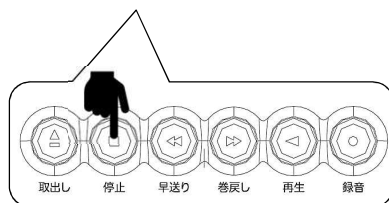
4. 録音ボタンを押して、録音を開始します。
録音ボタンを押すと再生ボタンもいっしょに下がります。



裏面に録音する場合は、停止ボタンを押してから取出しボタンを押して、カセットテープを取り出します。カセットテープを裏返して入れて、録音ボタンを押します。

5. 録音を止めるには、停止ボタンを押します。

テープが最後まで巻き取ると自動的に止まり、ボタンが上がります。



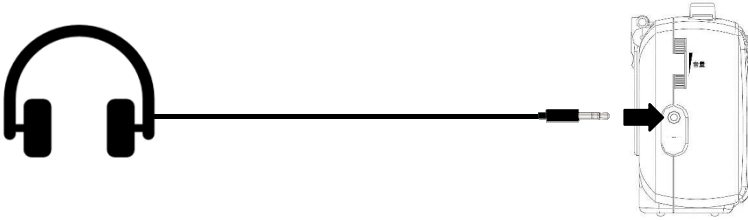
ご注意

- 録音レベルは自動的に調整されるので、録音中に音量を操作しても録音には影響しません。

使いかた

イヤホンで聴く

φ3.5mmミニプラグ付のイヤホン・ヘッドホン(別売り)を本体サイドのイヤホンジャックに接続します。イヤホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。



ご注意

- イヤホン使用時は音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本製品はモノラル仕様です。

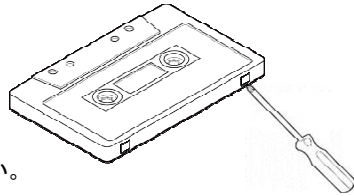
カセットテープについて

- ノーマル(Type 1)をお使いください。ハイポジション(Type 2)やメタルテープ(Type 4)は使用できません。
- エンドレステープは使用できません。
- 90分を超える長時間テープは非常に薄いため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。
- カセットテープの両端の半透明の部分は録音できません。録音の前にこの部分を送ってから使用してください。
- テープのたるみは巻き取ってから使用してください。たるんだまま使用すると、テープが傷付いたり、切れる原因になります。
- 次のような場所で保管しないでください。
 - ・直射日光の当たるところ
 - ・高温・多湿のところ
 - ・磁気のあるところ
 - ・ほこりの多いところ
- 長期間保管すると、温度や湿度でテープ表面がダメージを受けています。次のような場合は故障の原因となりますので、使用しないでください。
 - ・変色している
 - ・カビなどが付着している
 - ・テープが大きく波打っている

使いかた

大切な音を消さないために

既に録音したテープに録音すると上書きされてしまい、元の音は消えてしまいます。誤って大切な音を消さないように、カセットテープの背面にある録音防止用のツメをドライバーなど折ってください。



ツメを折ったテープにもう一度録音したい場合は、セロハンテープなどでツメを折った穴をふさいでください。

著作権について

あなたが録音したものは個人として楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。したがって、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続については、「日本著作権協会」(JASRAC)にお尋ねください。

お手入れ

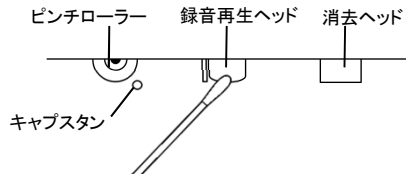
本体のお手入れ

本体が汚れたら、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装が変質したり、塗装がはげるおそれがありますので、使用しないでください。

テープヘッドのお手入れ

よい音質で録音・再生するためには定期的にお手入れをおすすめします。

1. 停止ボタンを押して、カセットドアを開けます。
2. 綿棒に市販のクリーニング液をつけ、ヘッド部分の汚れをふき取ります。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない	電源コードが外れている	電源コードを接続してコンセントに差し込んでください。
	乾電池が正しくセットされていない	乾電池を正しくセットしてください。
	乾電池が消耗している	乾電池を新しいものと交換してください。
	音量が小さく設定されている	音量を調節してください。
	イヤホンが差し込まれている	イヤホンを外してください。
ラジオ		
雑音が入る	電波の受信状態が悪い	アンテナの向きは角度、本体の向きを調整してください。
	選局がずれている	選局ツマミで周波数を調整してください。
	モーターや蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている	本体をこれらの機器から遠ざけてください。テレビを消してください。
カセットテープ		
音が出ない	機能切換がラジオになっていない	機能切換をラジオに合わせてください。
カセットが入らない、カセットドアが閉まらない	カセットが上下逆向きになっている	テープの見える方を上にして入れてください。
	カセットが正しくセットされていない	カセットを正しくセットしてください。
テープが走行しない	カセットの不良	カセットを取りかえてください。
	テープが全部巻き取られている	カセットの裏表を入れかえてください。
	電池が消耗している	電池を新しいものに取りかえてください。
録音ボタンが押せない	ツメの折れたカセットを装着している	カセットを取りかえてください。誤消去防止の穴をセロハンテープでふさいでください。
	カセットが入っていない	カセットをセットしてください。
音がとぎれる、音程が狂う	テープヘッドが汚れている	テープヘッドを掃除してください。
	ハイポジションやメタルテープを使っている	ノーマルテープを使用してください。
	電池が消耗している	電池を新しいものに取りかえてください。

製品仕様

電源	乾電池	DC 6V 単3電池 x 4
	外部電源	AC 100V 50/60Hz
定格消費電力	4W	
スピーカー	57mm x 1	
端子	イヤホン端子	
電池接続時間	約13時間(テープ再生時)	
受信周波数	FM	76～108MHz
	AM	530～1600kHz
電源コード長	確認中	
外形寸法	幅220mm x 奥行60mm x 高さ106mm	
質量	約610g(乾電池含まず)	
付属品	電源コード・取扱説明書(本書)	

※仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

保証書・保証規定

保証書

型番	EFP-RCM01	管理番号	
保証期間：ご購入より1年間			
※レシートとともに保管ください			

保証規定

この保証規定は、お客様への保証内容を明記したものです。また、一定の期間・条件のもとで、保証をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

1. ご購入日より1年間、「取扱説明書」に従った正常な使用状態で万一故障が発生した場合は、同一または同等品と交換いたします。
2. 交換の必要が生じた場合は、製品にご購入時のレシートを添えて、お買い上げ店へご持参またはご送付ください。
3. 交換ご依頼品のご持参およびお持ち帰りの交通費など、またご送付される場合の送料およびその他の費用はお客様のご負担となります。
4. 保証の範囲は、交換を限度とします。また、故障その他による逸失利益、その他、製品の使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証対象外となります。
 - (ア) レシートにお買い上げ日、お買い上げ店名がない場合。
 - (イ) ご使用上の誤り、改造が行なわれた際の故障及び損傷。
 - (ウ) 火災、地震、風水害、雷、その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷。
 - (エ) 故障の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - (オ) お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (カ) 特定の機器との組み合わせによって生じる不具合(相性)・故障の場合。
 - (キ) 譲渡・転売・中古販売・オークション等で入手された商品。

ノジマカスタマーセンター

営業時間：年中無休 10:00～20:00

電話：045-228-3546

ホームページからのお問合せは

URL: <http://www.nojima.co.jp/>

ELSONIC

株式会社ノジマ

〒220-6126 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3

Ver.1.0